

高崎市教育委員会定例会会議録

開 会 年 月 日

令和5年7月27日(木) 午後2時

閉 会 年 月 日

令和5年7月27日(木) 午後2時35分

会 議 の 場 所

教育委員会室

教育長職務
代 理 者

重 田 誠

委 員 神 宮 嘉 一

委 員 田 野 内 明 美

委 員 塩 野 有 希

事 務 局 (説明員)

教育部長 青 柳 正 典

公民館担当部長 川 嶋 昭 人

学校教育担当部長 大 澤 好 則

教育総務課長 小 池 郁 生

社会教育課長 茂 原 久 美 子

文化財保護課長 角 田 真 也

中央公民館長 山 口 順 子

中央図書館次長 齊 藤 寛 方

教職員課長 岡 田 朝 夫

学校教育課長 依 田 哲 夫

健康教育課長 長 岡 誠

教育センター所長 清 水 さとみ

高崎経済大学附属高等学校事務長 新 井 史 代

書記 教育総務課 宮 澤 信 宏

7月27日	会 議 に 附 し た 事 件
議案第12号	高崎市指定文化財の指定について
議案第13号	令和6年度使用教科用図書採択について

高崎市教育委員会 7月定例会会議録

教育長職務代理人（重田誠）

7月定例会の開会に先立ちまして、去る6月30日に飯野眞幸元教育長がご逝去されました。また、7月9日には小学校1年生の児童がご逝去されました。お2人のご冥福をお祈りして、哀悼の意を示すために黙とうを捧げたいと思いますので、皆様ご協力をお願いいたします。

（黙とう）

教育長職務代理人（重田誠）

ありがとうございました。

それでは、これより高崎市教育委員会7月定例会を開会いたします。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第1 会期の決定といたしまして、会期は、本日1日といたします。

日程第2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、田野内委員と塩野委員を指名させていただきます。よろしくをお願いいたします。

日程第3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長職務代理人（重田誠）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第12号「高崎市指定文化財の指定について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いいたします。

（角田 文化財保護課長 説明）

教育長職務代理人（重田誠）

説明が終わりましたが、ご質疑等ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

文化財は年々増えていると思いますが、管理などはどうされていますか。

文化財保護課長（角田真也）

市内には多くの指定文化財がありますが、市の職員がこれらの文化財を巡回し、所有者の方にお話を伺いながら管理の相談に乗っております。また、場合によっては、私達も協力して維持管理に努めているところです。

教育長職務代理人（重田誠）

文化財を維持していくのは、なかなか大変で難しくなっているかと思いますが、引き続きよろしくをお願いします。

教育長職務代理人（重田誠）

それでは、お諮りいたします。本案は原案のとおり決することでご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

ご異議なしと認め、議案第12号は原案のとおり決しました。

続きまして、議案第13号「令和6年度使用教科用図書の採択について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いいたします。

（依田 学校教育課長 説明）

教育長職務代理人（重田誠）

説明が終わりましたが、ご質疑等ございますでしょうか。

委員（神宮嘉一）

私は保護者の立場で4年前と8年前の選定委員会に出席したことがあります。調査委員の方々が入念に時間をかけて細かく調査をしてくださいました。それを基に、選定会議をした覚えがあります。今回も選定委員会が行われたと思うのですが、その時のご意見や様子をお聞かせください。

学校教育課長（依田哲夫）

選定委員会では、教科書選定の理由を聞かれ、本市で取り組んでいる「高崎市の学校教育」に基づいた内容になっているか、子どもたちの思考や興味関心を高め、深い学びに繋がっているものであるか、本市で取り組んでいる学習過程スタンダードに沿った内容として教員が使いやすいかなど、そういった観点で選定を行っているかと回答しております。

委員（神宮嘉一）

ありがとうございました。

教育長職務代理人（重田誠）

他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

教科書は、教育のDX化によって徐々にデジタルと融合しており、将来的にはタブレットは教科書の一部になっていくと思います。そういった将来を見据えて、デジタルと紙をどのように使用するか、教育委員会ではどう考えていますか。

学校教育課長（依田哲夫）

今はデジタル教科書が出ている関係もありまして、紙で使う利点とデジタルで使う利点が様々出てきました。今回の教科書にも、各社でQRコードを使って動画を見られるように工夫されていた点は、選定委員会の中でも大変評価が高いです。そういった点からも、紙の良さとデジタルの良さ、それらを融合した形でこれから使えるものとして選定しております。

教育長職務代理人（重田誠）

デジタルだけでは、なかなか難しい問題があるので、紙も残しておきたいと私は思っています。

教育長職務代理人（重田誠）

それでは、お諮りいたします。本案は原案のとおり決することでご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

ご異議なしと認め、議案第13号は原案のとおり決しました。

教育長職務代理人（重田誠）

以上で、予定していた議事の審査は終了いたしました。事務局から他に報告等がありますか。

（「特になし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

事務局からは無いようですが、委員の皆様から、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

委員（神宮嘉一）

部活動の地域移行に関する話題がよく取り上げられています。スポーツクラブが県の中体連に参加できるとか、民間企業が部活動の指導のサポートを表明するとか、また、場所によってはNPO団体が受け皿としてサポートを行っているところもあるようです。新聞やネットを通じて、各地で報道されているのを認識しているのですが、県でも「部活動運営のあり方検討委員会」というのを、数年前から開催しています。差し支えなければ、県の動きや取組状況、本市における現況をお聞かせいただければと思います。

健康教育課長（長岡誠）

部活動の地域移行については、昨年度まで「部活動のあり方検討委員会」を開催していたのですが、今年度は県の地域創生部も加わって地域移行を進めていくことになっています。会議では、本年度中に市町村で推進計画を作成していく形で動いています。本市といたしましても、県と国の動向を見据え、地域移行ができる方向性を探りながら進めていきたいと考えております。

委員（神宮嘉一）

報道が優先されていますが、塩野委員は保護者の立場として、どのように感じているかをお聞かせいただきたいと思います。

教育長職務代理人（重田誠）

塩野委員いかがですか。

委員（塩野有希）

私の娘は中学校で吹奏楽部に入っていますが、スポーツでも吹奏楽でも、学校の先生の仕事量がとにかく多くて、授業プラスで土曜日曜、放課後も返上してやられていることに頭の下がる思いです。地域移行と頻りにニュースでは聞きますが、実際のところ先生が1人で頑張っているようなイメージで、そこにギャップを感じます。以前、私も部活動のことで質問したことがあります。予算があっても部活動指導員や外部講師とのマッチングがうまくいかないと伺いました。地域移行とは別かもしれませんが、そこを阻むものは何なのか、こんなに先生は大変で、子どもたちはもっと活動したいけれど、元プロフェッショナルだという人の技術などを学べたら有難いと思いますし、すごく良い制度だなと思いますが、実際のところ現場でそんなに進んでいないという感じがします。

教育長職務代理人（重田誠）

健康教育課長、何かありますか。

健康教育課長（長岡誠）

現在、部活動指導員と外部講師を積極的に採用しており、100人を超える協力者が各学校の部活動を支援しているところです。指導者は、色々な課題から慎重に進めざるを得ないところがあります。すぐに移行というわけにはいかないといった辺も含めて、国や県の動向を見据えながら、本市としても取り組んでいきたいと思っています。

委員（塩野有希）

外部講師の方は、同時に顧問の先生や学校の教職員もいないといけないのでしょうか。それとも、外部の教員資格を持っていない方だけで部活動は行えるのでしょうか。

健康教育課長（長岡誠）

部活動指導員に関しては、顧問の先生がいなくても監督ができます。外部講師に関しては、顧問がいて外部講師がいるという形です。

委員（塩野有希）

教職員の拘束時間というのは、あまり変わらないですか。

健康教育課長（長岡誠）

部活動指導員がいる間は、顧問の先生がいなくても部活動はできますので、教職員の負担は軽減していると思います。

委員（塩野有希）

ありがとうございました。

委員（神宮嘉一）

折を見て部活動に関してお伺いさせてもらおうと思います。指導者のクオリティの確保と、人によって指導方法に極端な違いがないように、学ぶ機会の均等を確保できたらと思います。この学校の子どもたちは学べるけれど、あの学校の子どもたちは学ぶことができない。そういうことは、極力避けてもらいたいと思っています。部活動で特に運動系を一生懸命やられている子どもの保護者に見てみると、色々な学ぶ場所は部活動以外にもありますので、そういった中で不安に思っている方もいると思います。高崎市も動向を見ながら、そういった不安が無いように、色々な取組を進めていただきたいと思います。

教育長職務代理人（重田誠）

他にいかがでしょうか。

委員（田野内明美）

先週から夏休みに入りましたが、楽しく怪我も無く過ごして、新学期にまた元気に登校してもらいたいと思っています。ここ毎日、本当に危険な暑さが続いていて、特に7月に入って36℃以上の日が非常に多くなっており、8月も同じように暑い日が続いていくという予報もあります。昔は気温が低くてプールに入れなかったということがありましたが、ここのところ気温が高すぎて入れない、熱中症になってしまう危険性があるのでプールは中止という話をよく聞きますが、プールの状況はどうなのか伺いたいと思います。また、例えば猛暑の中の屋内外のスポーツで、先日、光化学スモッグ注意報も出ましたので、そういった時にその都度の対応が必要なのではないかと思っています。水分補給や休憩など、こまめに取られているとは思いますが、例えば時間を短くするか、中止にするとか、そういった対応があるのか教えていただけたらと思います。

健康教育課長（長岡誠）

1学期のプールは予定通りに実施しました。気温が高い場合は、水温と気温を合わせて65℃を目安に、それを超えた場合には、暑さ指数も見ながらプールを控えています。また、先日中体連の市の大会がありまして、私も会場を全部回らせていただきました。暑さ指数や暑さ指数計で危険になった場合には、配慮しながらになるのですが、空調の効いている体育館もありますので、そちらは全く問題がありませんでした。サッカーや野球などでは、暑さ指数に応じての休憩時間、場所によってはハーフタイムに空調の効いた部屋で子どもたちを休ませるなど、配慮しながら実施しました。本日も小学校の水泳大会が行われたのですが、12時過ぎには終わりにし、無事に終了したと報告を受けています。熱中症を出さないように暑さ指数と子どもの健康状態を見ながら、配慮して行っております。

委員（田野内明美）

ありがとうございます。引き続きよろしく申し上げます。

教育長職務代理人（重田誠）

夏休み中のプールは、ほとんどやっていないのですか。

健康教育課長（長岡誠）

夏休み中のプールの開放については、各学校で判断しております。行き帰りの熱中症や大勢が集まることでの感染症の心配など、そういった事を総合的に判断して実施の可否を決めているようですが、開いている学校は少ないです。

教育長職務代理人（重田誠）

他にいかがでしょうか。

委員（塩野有希）

夏休みに入りまして、学校の先生とお話する教育相談がありました。コロナ以前は家庭訪問ということで、ゴールデンウィーク前後に先生に家まで来てもらったというのがありました。今は教育相談ということで、保護者が学校へ行って面談をしております。これがすごく有難いと思っています。先生方は過重労働の中、時間を割いていただいて大変だと思います。しかし、子どもの様子ですとか、コロナが明けて授業参観などが始まりましたが、なかなか自分の子どもだけの話をすることがないので、10分程度の時間ですが、個別に対応していただけるというのが大変有難いと思っています。是非、これからもよろしくお願いいたします。

委員（神宮嘉一）

今、タブレットを子どもたちに持たせていると思うのですが、例えばオンライン面談などは取り入れているのでしょうか。

学校教育課長（依田哲夫）

現在、家庭訪問を行っている学校はほとんどありません。学校にお越しいたきて、限られた時間の中での面談となります。家庭の状況を把握するのも学校の役割ですが、今はグーグルマップで見ることができ、あとは通勤の行き帰りに場所の確認や、家庭から出していただいている家庭調査票を基に何か問題があればすぐ駆けつける事ができるような状況をつくっています。また、タブレットを使った面談を実施しているところは少ないですが、コロナ時に家庭に子どもがいて連絡をする際に、担任と保護者と子どもでやり取りをしていた話は聞いております。今後、そういったことも1つの方法として考えられるかなと思いますが、今のところはタブレットを使った面談というのは進んでいない状況です。

委員（神宮嘉一）

私の娘は県外の大学に行っておりまして、学校に相談したいと思うことがあった際に、やはり県外まで行くのは大変で学校もそれを察して下さって、Zoomでの面談になりました。双方気持ち良く、顔を見ながらお話ができたので非常に助かりました。そういう意味では、塩野委員のお話の内容でそういうことが期待できるかなと感じました。有効に活用していただければと思います。

教育長職務代理人（重田誠）

他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

他にないようですので、私からお話しさせていただきます。ご存知とは思いますが、子どもたちの感染症がとて多くなっていて、小児医療がかなり逼迫しています。5月下旬くらいからヘルパンギーナやRSウイルスなど、色々なウイルスが全国的に流行しています。理由としては、人の動きが5月から多くなったということ、また、幼稚園や保育園は、ここ2、3年すごく感染症に気を付けていましたので流行がありませんでした。それはすごく良いことなのですが、逆に流行がないために抗体を持っていないので、小さいうちに罹る感染症がもう少し上の年齢で罹っていて、今年は小学校くらいの子が罹っていて少し普通と違っていています。流行するウイルスの数が多く、色々な感染症が同時にパンデミックの様に流行してしまい、小児科の病棟が満床で入院し難い状況です。夏休みに入ったので、多少良くなったと思いますが、感染症が多いのと、その中に混じってコロナも少し出てきています。また、抗生物質や気管支拡張剤などの薬が無くなってきました。もうしばらくすると改善するかもしれませんが、そういったこともベースにあり、更に夏休み中は熱中症対策や水の事故など、色々なことが起こりますので気を付けていただけたらと思います。

教育長職務代理人（重田誠）

それでは、以上をもちまして、教育委員会7月定例会を閉会させていただきます。本日は大変ご苦勞様でした。